

MAINTENANCE メンテナンス

- ・アーキパンションは耐食性にすぐれていますが、長期間に渡り放置しますと、表面に塵や埃、塩分などが付着し、点状の腐食(点食)を起こし美観を損なうことがあります。また、ステンレスネジ部などは、使用方法により赤錆等が発生することがあります。いつまでも美しさを保つには、定期的な清掃、お手入れをおすすめします。また、不具合や腐食が発生した場合、そのまま放置されますと安全面でも危険な場合も考えられますので、定期的な点検保守管理を行なってください。
- ・環境条件により汚れ方も異なりますので、清掃および点検の頻度は下表を参考にしてください。
- ・外壁タイルなどの酸洗いを行なう場合は、アーキパンションの施工前に行なうか、アーキパンションに酸が付着しないよう十分に養生を行なってください。

メンテナンスの目安

立地条件	清掃回数	定期点検(2年目以降)
臨海工業地帯	1~2回/年	1回/年
海岸・工業地帯	1回/年	1回/年
市街地	0.5~1回/年	1回/年
田園地帯	0.5回/年	1回/年

CAUTION 取り扱い注意事項

- ・荷重・衝撃をかけないでください。変形する恐れがあります。
- ・カバーを固定したり、物を置かないでください。常微動や地震可動時に障害を及ぼします。
- ・製品の設計荷重を超えるご使用は、製品の変形や破損をまねく恐れがあります。設計荷重を超える場合や、重量物の移動時は鋼板などを渡し、カバー材表面を保護するようお願いいたします。またカバー材上を特殊車輛やフォークリフトが通過する際は、その見合った製品仕様をご指示・選択ください。
- ・カバーを引張ったり、物を吊り下げたりしないでください。外れて怪我をする恐れがあります。
- ・水を流さないでください。特に床面の清掃時に直接水をまかないでください。階下に漏水の恐れがあります。
- ・製品に油などの滑りやすいものが付着したり、雨水などが製品の表面に溜まると歩行者の転倒や事故を引き起こす恐れがあります。速やかに清掃を行なってください。
- ・カバーがずれた場合はすぐに元の位置に戻してください。カバーは常時微動しているため、ずれて隙間ができることがあります。
- ・取り外しは専門業者にお任せください。重量物の取り扱いは十分な注意が必要で危険が伴います。
- ・本製品は金属製品がメインですが、中には可燃物もあるため、溶接時や金属切断時には防火シート等を使用し、火花や火の粉には充分ご注意ください。
- ・耐火帯の施工は、弊社施工手順書に従い取り付けてください。現場加工、切断時にはセラミックファイバーの粉塵を吸収しないよう、防塵マスク、防塵眼鏡、保護手袋を着用してください。切断部は「耐火帯用ジョイントテープ」を使用しセラミックファイバーが露出しないようにしてください。

NOTICE おことわり

- ・アーキパンション免震シリーズは完全受注生産品となります。
- ・可動実験と異なる地震動が発生した場合は一部に破損が生じることもあり、補修(有償)が必要となることがあります。
- ・端部の役物カバーは地震動の影響をもっとも受けやすく、補修(有償)が必要となることがあります。
- ・車輛通行時に地震が発生した場合、カバーが破損する恐れがあります。
- ・車輛通行部の床用エキスパンションジョイントカバーの前後では減速帯(ハンブ)の使用をおすすめします。
- ・製品は2014年1月現在の取り扱い仕様です。性能改良のため、予告なく仕様・デザインの変更または、販売中止となる場合がありますのでご了承ください。
- ・WORKS施工実績写真は、すべて物件ごとに最適な仕様・寸法にてご採用いただいております。PRODUCTS断面図仕様と厳密に同一な仕様はありませんのであくまで納まりの参考例としてご覧ください。
- ・物件ごとの個別案件での製品可動実験は対応しておりません。
- ・掲載資料には弊社開発技術詳細の内容を含むものがあります。掲載内容の無断転載・複製・引用などはご遠慮ください。
- ・シーリング、モルタル充填、仕上材(石・タイル・ボード等)の建築工事区分についてはご配慮ください。
- ・残留変位や鉄骨構造などの伸縮により建物が動いたままの状態でも保持された場合、製品に段差が生じる場合があります。

GLOSSARY 用語解説

- ・振動台実験 地震動の再現加振や3次元の加振を製品に与え、性能を確認する実験。
- ・加振台実験 2次元(水平)の加振を製品に与え、性能を確認する実験。